

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和元年度第3回西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会
開催日時	令和2年2月28日(金) 午前9時30分～11時30分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	瀧川光治、鈴木正敏、松尾寛子、閑念勝代、古家幹也
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	—
出席職員の職・氏名又は人数	教育長 笹倉邦好 幼保連携課長 大隅誠一 幼保連携課主査 藤原敬章 幼保連携課（幼児教育センター）藤原幸恵 学校教育課教育研究室主幹兼室長 衣川正昭
公開・非公開の別	非公開
非公開の理由	個人情報に配慮するため
協議又は協議事項	(1) 第2回視察訪問について (2) 評価の報告及び公表について (3) 令和2年度就学前教育推進事業について (4) その他
会議の記録	
発言者	内 容
事務局	1 開会 委員の出席は5名 (資料確認)
教育長	2 あいさつ
事務局	この後の議事の進行は、委員長をお願いします。
委員長	3 議事 (1) 第2回視察訪問について これまで2回の訪問、そして最終的に提出されている自己評価の点検、結果を踏まえて意見交換させていただきます。

委員	<p>第1回の訪問時期が9月、第2回が1～2月でしたが、5か月の中で子どもの成長に驚きました。</p>
委員	<p>A園では、5歳児に考えて判断させるという場面や、これからの予定のようなものをきちんと子どもに伝えて、その上で子ども達が行動するという場面がありました。4歳児の場合は、いろんな話し合い活動を取り入れ、協同作業があったり話を聞く態度（座り方）もきっちりと指導されていましたので小学校としては大変ありがたいと思いました。</p>
	<p>B園では、子ども達の活動の写真を貼るだけでなく、『幼児期に育てたい10の姿』のこの部分につながっているということ、保護者に発信されていました。園の様子がよく分かる取組だと思えますし、0歳児・1歳児の子ども達に対して、言葉だけでなく表情から読み取り、こういう活動だということ、をきっちりと評価されていました。このような取組によって教師による子どもの見取りがしっかりでき、自分たちの指導力の向上につながる、非常にいい取り組みだと思いました。</p>
	<p>C園では、縦のつながりを意識した保育というのを強く感じました。年齢に応じて、はさみの使い方やえんぴつの持ち方等、子どもたちに分かりやすい場所にいろんな展示物があり先生方の工夫も見られました。</p>
委員長	<p>併せて、第2回の視察訪問では小学校の先生に参加いただいています。次年度に向けての小学校関係者との取り組みについて話をさせていただきます。まず、事務局から報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p>第2回の訪問では、小学校の先生に参加を依頼し、ほとんどの学校の校長先生をはじめ先生方に参加いただきました。9時から11時頃まで、園での姿（登園や自由遊び、園によっては設定保育の様子）を観ていただきました。園児について、担任や主任等と情報を共有されていました。参加された小学校の先生に感想を聞きましたが、小学校に来てもらう交流はあるが、園の姿を直接観るということは今までなかったので、よい機会だったと言われました。</p>
委員	<p>訪問することで園児の情報を共有できたこととともに、小学校が、これまでこども園や幼稚園の5歳児の進学先が把握できていなかった</p>

	<p>たので、どの校区の子が園にいるという一覧や、支援のいる子の進学先の情報があることもよかったという話を聞きました。ただ、担任教諭が学期中に子どもを自習させて参観に行くというのは非常に難しい状況なので、管理職や担任外の教諭の参加になってしまおうと思います。夏休み期間等を利用して、できるだけ多くの教諭が園を訪問する機会がもてるよう提案しようと考えています。全員が知っておくというのは大事かと思います。</p>
委員長	<p>今お聞きすると、一步前進したようですね。夏休みを利用して、校長だけでなく、先生方が園を観る機会を作るというのを、市全体でうまく広げられたらいいかもしれませんね。</p>
委員	<p>小学校関係者に園を観ていただいたのが一番の成果です。今後も続けていって具現化するといいかなと思います。</p>
委員	<p>園によって保育の方針が異なっていますが、小学校関係者に、園の環境の中で子ども達がどう活動しているのかを実際観ていただいたのは、すごくいいと思います。</p>
委員	<p>支援の必要な子の観点でも、新年度は、環境が大きく変わるので心配な面が多く出てきます。その子についての情報を進学先に伝えるということは、大きな支援につながります。</p>
委員長	<p>今回の訪問を通して、学校関係者の皆様が実際に園に出向いて、観て、肌で感じる、知るというところがまず第一歩として、良かったと思います。また、一般の先生方が今後、夏休みを利用して観る機会を作っていくことで徐々に、幼児理解の機会になるでしょう。そのような土台を作ったうえで、改めて今回学習指導要領にも示されている『幼児期に育てたい10の姿』の幼児期の部分を、小学校でどう積み上げていくというところについて、次の展開はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>例えば視覚支援とか、座席の状況とか、園を参考にしてもらい、環境を取り入れてもらえると、子どもはずいぶん安心できます。他市のスタートカリキュラムで実際に小学校に実践してもらったのですが、環境で視覚支援をどれだけするか、特に支援の子にとって</p>

	<p>はとても大事です。また、読み聞かせの方法でも、机でなくちよつと座ったりして行ったり、机じゃなくてどこかに集まって話を聞けたりという状況があると、それだけでずいぶん安心できます。園での保育の様子や環境・雰囲気を観てもらうだけでも全然違うかなと思います。</p>
事務局	<p>小学校との連携の機会として、次年度も今年度に続き、キャリアアップ研修（公開保育）を夏休み期間中に行い、スタートカリキュラムについて委員から教えていただく予定です。今年度は、小学校管理職の参加が多かったのですが、この機会に沢山参加していただき、委員に保育を観る視点を教えていただければと思っています。学校教育課のとしてのご意見はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>中学校区の連携の方は私の方が担当しております。中学校ブロックではそれぞれ学力向上、生徒指導、読書等について検討しています。過去、私が中学校に勤めている時は、幼・小・中で、例えば読み聞かせや、中学校で作った教材を小学校や幼稚園で披露・活用する等、担当者が年に数回実際に顔を合わせてやっていた現状がございます。中学校ブロックの連携を使って夏休みに計画するのであれば、年度当初に各学校・校区ごとに検討することは可能かと思えます。</p>
委員	<p>私も9園訪問させていただいて初めて、徐々に「あ、こういうことか」と分かってきました。多分1回目観てもあまり分からないと思います。時間がかかるかもしれませんが、何年か継続して夏休みに行かせていただく。それを積み重ねていって、小学校の方の意識を変えていくという方法もあるかなと思います。校長だけが見ても伝わりませんので、それよりも教職員全員が年に1回でも観て回るという経験を、継続、年間行事に取り入れていく、その方が効果は高いかなと思います。</p>
委員長	<p>今のような意見で、見通しが立てそうなので、小学校関係の協議はこの辺りでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは次に、各委員から訪問の感想やご意見のご報告いただければと思います。</p>

～訪問園の状況報告（抜粋）～

- 1回目にアドバイスしたことを踏まえて、2回目の訪問までの間に改善されたところが、どの園も見られた。各保育室も1回目から2回目にかけて、工夫されている園が多かった。また、2回目の方が、先生方の質問でも安心感をもたれていた。ただ、改善はされていますが、個々の園での課題はまだまだある。
- 第1回の訪問時は、特に支援の必要な幼児に対してのかかわり方・保育の進め方で不安に思われていた先生が、かかわり方や保育環境、特別支援の助言を受け、第2回目にずいぶん落ち着いて保育されていた。悩みながらも、一生懸命に保育に取り組まれた過程を感じた。
- 写真を多く取り入れたドキュメンテーションを頑張られている園があり、保護者にも分かりやすく、幼児理解にもつながる取組だと感じた。
- 職員配置を子どもの個性に応じて配慮されている園があり、良いと思った。
- 地域性を生かした素材を手作りおもちゃや保育環境に活用している園があり、あたたかい雰囲気作りの一つの要因だと感じた。おもちゃを作る過程をあえて見せながら進めていると聞き、子ども達が、「大切にしよう」「こういう風に出来上がっていくのだ」と思える意図のある事例だと思う。
- 研修でというところでは、各園で参加にばらつきがあるように感じた。園内で協力をして研修されながら質の向上を図られているのが端々に見られる園は、若手もベテランも一緒に研修に参加して向上しようというのがよく分かった。やるべきことはまだあると思うが、そういう姿勢が見られた。その一方、個々の保育者さんに負担が全部かかってきていて、統制が取れてない様子や、人員が足りないので研修に行く余裕がない園も見られた。今後の課題かと思う。個々の先生方と話をしていると、意欲や思いもあるので園の体制作りではないかと思った。

	<ul style="list-style-type: none"> 迷ったり考えたりすることがある先生に対してのフォローも気になる。上の方がアドバイスする体制が必要な園もあるように感じる。
委員	<p>こども園・幼稚園全9園を訪問しましたが、「支援の必要な子への保育の仕方について」「保護者への伝え方や対応について」の相談がほとんどでした。今回、スムーズに集団の中に入れられないようなお子さんに対して、先生方が困っているところを、実際に保育に入っ て、具体的に対応策を話しました。2歳くらいから課題が見えてきます。対応するためには先生方のフォローが必要なのではないかと感じました。園によって差が見られましたので、来年度以降も継続して相談に入り、つなげていけたらいいなと思います。</p>
委員長	<p>私がこの1年の中で気づいたのは、自己評価をすることによってそこの園に入り込むことができ、その園の先生方の力量を見ることができたのがこの仕組みとして良かったと思います。ただその一方で、気になる点ですが、自己評価に合わせて、事前に出していただいた質問の内容とか先生の困り感を見ると、どちらかという初任者研修のレベルの質問が多いと思いました。学校教育の枠組みの中では、教員になって1年目は初任者研修を受けてきますけど、保育所の制度の中で、研修を受ける機会がないまま年数が過ぎている先生方が全般的に多いのかなという印象を受けました。</p>
教育長	<p>急激にというのは難しいかもしれませんが、想定した年数の間に、就学前教育・保育環境を、こども園と共にできるだけ整えていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>今年度このような取り組みをしてはじめて、見えてきたところがあり、それをふまえて次年度、評価委員として各園を回らせていただくときにどういうことに留意すべきかも含めて、次第の2番の評価の報告・公表というところに次の次第に移ります。</p> <p>(2) 評価の報告及び公表について 事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<p>～自己評価報告書スケジュール及び自己評価報告書案について説明～</p> <p><決定事項></p> <p>① 各園 A4 両面で作成</p> <p>② 作成者は各委員が項目を分担</p> <p>③ 作成後、各園に事前確認。HPに公表（6月） 具体的な内容報告も各園で行う。</p>
委員長	<p>(3) 令和2年度就学前教育推進事業について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～年間予定と会議等の日程について説明～</p> <p>自己評価訪問の改善点について、第1回の訪問では時間的なところのオーバーも多く、容量もすごかったのですが、第2回は保育内容の質問項目を絞る、特別支援の該当幼児の人数やクラスを絞りその場で助言を行うことによって、時間をうまく調整できました。次年度も、このような方法で実施したいと思っています。</p> <p>自己評価の記入の仕方についてですが、今年度3つ良い所を記入していただきました。『負担が大きい』というアンケート結果もあるのですがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>できれば来年度は全項目を記入してもらった方が、先生方の意識が5領域に向くのではないかと思います。良い事でも、良くない事でもそれぞれの項目を記入することで、意識できるかと思います。</p>
委員長	<p>今年度の訪問から、書き方にもばらつきがみられたように思います。「書くにあたって負担感が大きい」という意見があるのであれば、「こういう書き方をすれば分かりやすい」というのを、一覧表のような形にしたサンプル資料があると書きやすくなるのではないかと思います。『グッドサンプル』の作成はどうですか。</p>
事務局	<p>作成します。また、作成後確認をお願いいたします。次に、あるこども園から「食育・アレルギー」を自己評価に生かせないかという提案がありました。どの園でも取り組まれており、必要な内容か</p>

<p>委員長</p>	<p>と思案を作ってみましたがいかがでしょうか。</p> <p>特に意見がなく、増やすという方向性をお願いします。</p> <p>(4) その他 事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>～アンケートについて内容説明～</p> <p><決定事項></p> <p>ア 小学校関係者アンケートは、了承</p> <p>イ こども園幼稚園職員アンケートは、ストレスチェック的なものではなく、園長もしくは主任を対象に、自己評価訪問についての感想を問う内容で再検討</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、これで議事は終わらせていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 閉会</p> <p>本日は非常にご多忙の中ありがとうございました。次回の委員会は、来年度の5月18日午後3時からで予定しておりますのでよろしくをお願いします。</p> <p>以上をもって、本日の会議を終了します。</p>